



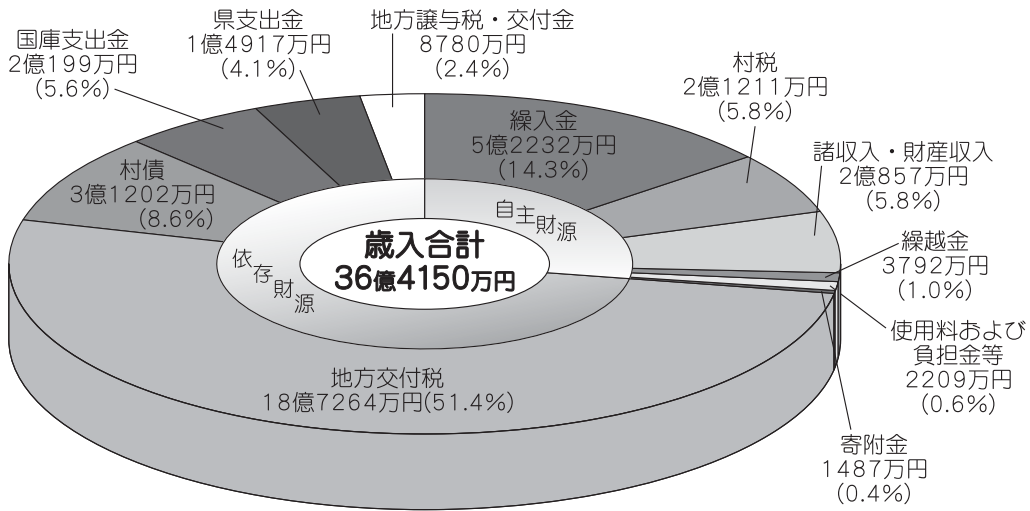
かけっこ
だいあき!

議会ブログはこちら♪



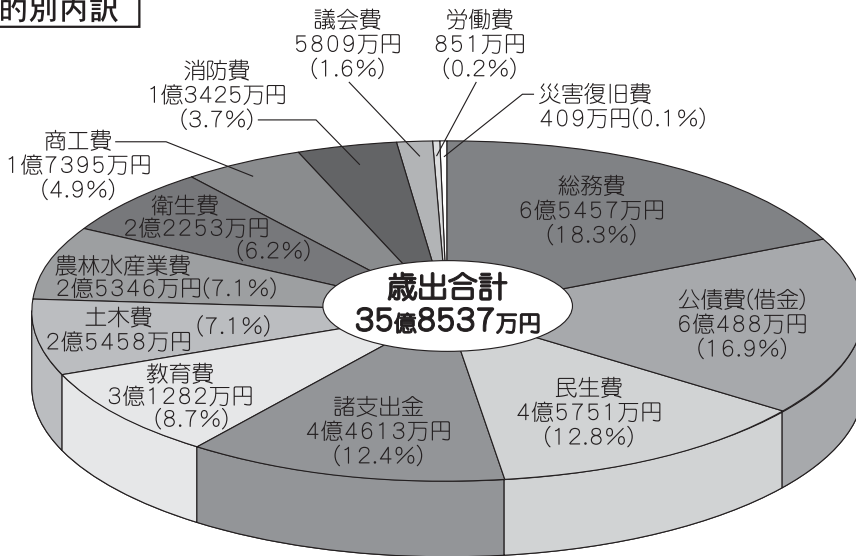
令和2年度へ繰越5613万円

一般会計歳入 36億4150万円



一般会計歳出 35億8537万円

目的別内訳



各会計の決算額

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差し引き	収入未済額	
一般会計	36億4150万円	35億8537万円	5613万円	978万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	2億3493万円	2億2538万円	955万円	606万円
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	8604万円	8156万円	448万円	
	後期高齢者医療	2813万円	2649万円	164万円	2万円
	介護保険(保険事業勘定)	3億7422万円	3億7146万円	276万円	165万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	3998万円	3998万円		
	簡易水道事業	3億9484万円	3億9344万円	140万円	120万円
	下水道事業	8841万円	8721万円	120万円	161万円
小計	12億4655万円	12億2552万円	2103万円	1054万円	
合計	48億8805万円	48億1089万円	7716万円	2032万円	

※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

令和元年度の決算を認定！

9月定例会議

令和元年度



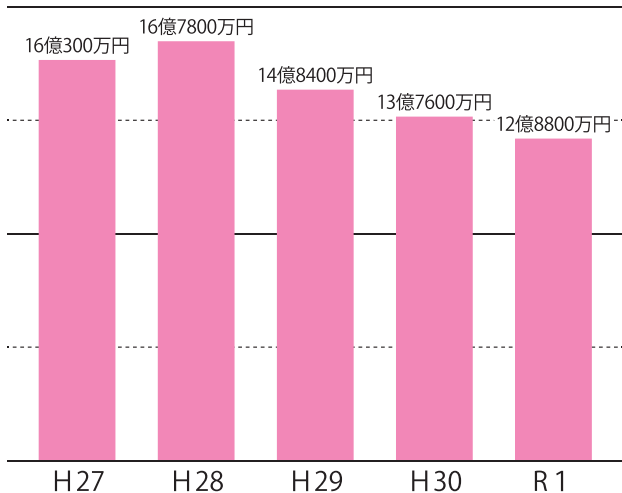
一般会計のなかみ

1年間で、**村民1人あたり**
このように使われました

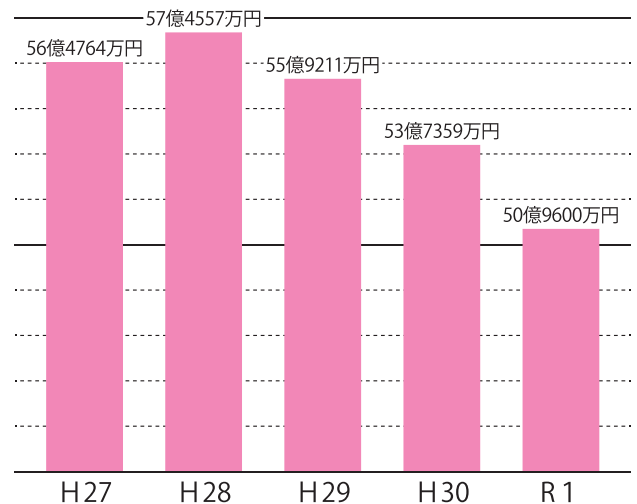


村民1人あたり **約143万円** (令和2年3月末日の人口2506人)
※特別会計を含めると約192万円使いました

財政調整基金(貯金)の推移



地方債(借金)借入残高の推移



令和元年度決算審査 有効に使われているか！

歳入

村税の不納欠損は

質問 村税の不納欠損額が前年度に比べ倍以上に増えているがその要因は。

答弁 滞納処分により財産を現金化したのが、村に配当された額が少なかったため、残りが不納となった。

滞納整理について

質問 どのような取り組みをしたのか。

答弁 催告を4回、県との共同催告1回、預金調査を28人分、固定資産の差し押さえは14件行っている。また、毎月電話で連絡を取っている。

相続人について

質問 相続人が亡くなった時点で不納欠損にならないのか。

答弁 通常は第一順位の方が放棄したら第二順位、第三順位とだんだん縁の遠い方に相続順位が移っていくが、法定相続人は亡くなった被相続人の兄弟の子どもまでとなっている。納税義務の方は、被相続人が亡くなったからといって直ちに消滅するわけではない。

不動産売却収入について

質問 1000万円ほどの収入があったが、内容は。

答弁 湯沢市皆瀬の生保内沢の国有林と、樺川西山ノ内松ヶ沢国有林の2箇所の分収林売却収入に伴うもの。

歳出

【総務費】

電算関係は同じ会社か

質問 業務委託料は2700万円ほどあるが、すべて同じ会社か。

答弁 この委託料には複数の会社が入っている。

応援団等報償費について

質問 スキー場で応援団の割引きを利用する方が少ないのはなぜか。

答弁 前売り券等の販売もあり、そちらを利用していることも考えられる。もっとPRに力を入れていきたい。

減少している要因は

質問 アンテナショップ「おらむすび」の売り上げや客数

が大幅に減少している要因は。

答弁 人手不足により、営業日、時間を減らしたため。

【民生費】

児童館管理委託料について

質問 田子内と岩井川の児童館で開所日数が50日も違うのはなぜか。

答弁 岩井川の児童館は土曜日は開所していないため。

【衛生費】

道路のごみは

質問 国道にごみが散乱していた場合、どこに連絡したら良いか。

答弁 管理者が対応することになるが、環境課へ連絡したければこちらで対応する。

生ごみ堆肥化について

質問 生ごみペレットの製造量と配布量に差があるのは何か。

答弁 村の協力世帯に配布した残りの分を普及目的で販売しているため。

【農林水産業費】

桃太郎トマト生産は

質問 助成金により面積や農家は増えているのか。

答弁 桃太郎トマトの生産者は平成29年度の事業開始から増えている。量も増え続けているため、一定の成果はあったと考えている。



くん炭販売は

質問 循環拠点施設のみみ殻くん炭にもっと付加価値をつけて、販売できるような方向に持っていけないのか。



【答弁】 問い合わせはあるがまだ販売には至っていない。ふるさと納税の返礼品にも出しているのので、PRも含めて協議していききたい。

【赤べごの出荷頭数は】

【質問】 畜産施設で赤べごは月にどれくらい出荷されているか。

【答弁】 毎月10頭前後を出荷している。



【商工費】

【村の備品か】

【質問】 観光施設に、いすやテーブルを買っているが、これらは村の備品となるのか。

【答弁】 村で購入しているため、村の備品となる。

【広告料は】

【質問】 新聞などに出ている広告は村で支払っているのか。

【答弁】 村で支払っているのは、須川高原等の春や秋のシーズンの広告で、新聞やテレビCM等がある。

【土木費】

【冬期交通対策費】

【質問】 除雪作業員賃金等が減っているが。

【答弁】 10人体制を8人体制で行ったことや、例年はないほどの暖冬で出勤回数が減ったことが要因。

【消防費】

【危険空き家解体事業について】

【質問】 件数は。

【答弁】 4件の申請があり、補助金の交付を行っている。

【教育費】

【奨学金について】

【質問】 貸付金について、追加で申し込み等の相談や、返還の猶予についての相談等があったか。

【答弁】 特になかった。

監査委員の決算審査意見

【審査結果】

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

各基金の管理については適正であると認められた。

【審査意見】

実質収支は全会計とも黒字決算となっているが、実質単年度収支では赤字となっている。特別会計においては、適正な財政運営のため料金の見直しなど、財務体質の強化を早急に図る必要がある。

財政状況は100%を超えた経常収支比率が示すとおり硬直化が進んでおり、深刻な状況となっている。

に取組み、指定管理等による運営の他、民営化、統廃合を含め検討されたい。事業や補助金等について、村民生活への影響を考慮しつつ見直しを徹底し、効果的な執行に努められたい。

新型コロナウイルス感染症により、厳しい財政状況に一層拍車をかける状況が懸念される。

行財政運営においては中長期の財政計画に基づいて運営されるべきであり、常に財政分析指数のチェックをし、健全な運営に努められるよう望むものである。



歳出において、内部事務の効率化及び電子化の推進等により経費削減を検討されたい。

公共施設の維持管理コストの把握や効果の検証

監査委員

吉田 正
佐々木 修

9月定例会議

9月定例会議は、9月4日から18日までの15日間の審議期間で開催されました。

報告2件、人事案1件、条例案6件、予算案7件、決算認定8件の合計24件を審議。陳情1件を採択として、議員発議の意見書1件を含むすべての議案を、全会一致で原案のとおり可決しました。

2日目には一般質問が行われ、4議員が登壇し、村政を質しました。

人事

議会の同意を必要とし、任期満了となる教育委員の人事案件が提出され、全会一致で同意しました。

教育委員

佐々木 知子（蛭川）

※再任

（任期）令和2年10月17日から
令和6年10月16日まで

議案質疑

9月定例会議の議案質疑の内容をお知らせします。

○個人番号カードの利用に関する条例について

質問 コンビニエンスストアで各種証明書の発行が可能になるようだが、村内のコンビニエンスストアで使用できるか。

答弁 村内のコンビニエンスストアには使用できるキオスク端末はない。設置の要請はしている。

質問 どのコンビニエンスストアで使用可能か。

答弁 主にセブンイレブン、ローソン、ミニストップ、イオンリテールの系列店、マックスバリュ東北等で使用可能。

○定住住宅条例について

質問 村に対して空き家の寄附等の申し出があった場合の対応は。

答弁 担当でその物件を確認し、家屋または土地の利用価値が高く、活用できる物件であれば庁内の会議を経て受け入れを検討する。

質問 空き家活用促進住宅は10年の期間設定をしているが、今回の定住住宅の使用期間は何年を見込んでいるか。

答弁 定住住宅に関してそういった年数は設定していない。しかし、定住を目的とした住宅のため、ある程度長い年数を想定している。

質問 何年か住んでみて、購入したいという申し出があった場合の対応は。

答弁 評価額や今回の整備事業費等から勘案して妥当な金額であれば検討する。判断はケースバイケースになると考える。



改修後、定住住宅となる空き家

質疑白熱

令和2年度一般会計補正予算(第3号)の歳入・歳出に対する主な質疑の内容



プログラミング学習の様子

村税に対する相談は

質問 新型コロナウイルスによる村税などの減免、もしくは納期限の延長等の相談はあったか。

答弁 現在のところは、窓口や電話等での相談や問い合わせはない。

学校ICT環境整備事業

質問 GIGAスクール構想ではオンライン授業をできる態勢となるか。

答弁 1人端末1台と校内の通信環境を整備する事業で、オンライン授業のためには個別の通信環境整備が必要となる。

改修費用の上限は

質問 今回対象の空き家は田子内が築50年、滝ノ沢で築22年と年数が経っていて、改修費用も当初より掛かるということだが、どうなのか。

答弁 定住住宅について、一概に築年数だけで判断していない。需要があれば状態を見て判断している。上限は設けていない。

生産性向上支援事業とは

質問 対象が指定されているが、あらかじめ相談があったのか。

答弁 3密を防ぎ、効率の良い農作業を行うための機器の購入経費を支援する事業で、対象者は認定農業者となっている。定期的に行っている農業法人の会議で情報交換をしながら事業を決定した。

質問 例にドローンとあるが、

大体どれくらいするものか。

答弁 だいたい200万円から300万円を見積もっている。

ドローン以外にも対象となるか。

答弁 申請者が提案した内容を審査して決定していくので、ドローン以外も対象となる。



農業用ドローン

新規販路開拓支援事業とは

質問 主に何を支援するものか。

答弁 農畜産物の販路拡大のため、村内の直売所を営んでいる団体に大型冷蔵庫（冷凍庫）の購入経費を支援するもの。

新しい生活様式対応観光施設整備事業とは

質問 第三セクター関係で、レストラン内の改修、施設の換気対策とは。

答弁 ジュネスワンではレストラン内に亚克力板や棚の設置、食券機での注文は混雑や接触があるため、購入の仕方を変更する。

ホテルプランではトイレの手洗い等の自動水栓化。多目的ルーム、大広間の換気設備の導入。エレベーターの更新。栗駒山荘については、換気対策の付加工事。共用のトイレの手洗い等の自動水栓化を予定している。

伊勢谷 勝美 議員



行政のデジタル化への取組は

村長 インフラ整備を国に求めていく

質問 村のデジタル化への対応について、コロナウイルスの影響で非接触型の対応が求められるようになり、窓口での対応と並行してインターネットで各種手続きが出来ないか。

村長 行政手続ではマイナンバーカードによる電子申請など、国のポータルサイトを活用し、一定のサービスは行える状況にある。

また、11月1日からは証明書のコンビニ発行等のサービスもご案内のとおりである。しかしながら、先の特別定額給付金などでマイナンバーカードの申請システムの脆弱性が露呈しており、デジタル化に向けてのインフラ整備に対する取り組みを国に求めていかなければならないと考えている。

働き方改革のために

質問 地域産業における働き方改革の必要性が高まる中、村の事業者にも情報通信技術が求められるようになってきている。デジタルツールに関

心があってもノウハウが少なく断念している現状である。村では事業者への教育・指導をどのように考えているか。

村長 村内でも建設業を中心として、デジタル化、あるいは電子入札等にしつかりと取り組んでおり、事業者からの苦情や要請は届いていないが、商工会等を通じ事業者が積極的に研修に取り組んで、あるいはデジタル技術の取得について努力していくことが必要ではないかと考える。

今後関係団体と協議しながら、国や県などの環境整備の支援がないかなど、商工会等を通じて照会することで、そこからの指導等もあるとご理解いただきたい。

オンライン診療は

質問 オンライン診療ができれば診療所に来なくても医療を受けることができ、感染リスクを軽減できる。独自のアプリケーションではオンライン診療を望む声もあるが。

村長 オンライン診療のメリットは通院時間の節約や、悪天候等の外出が困難な場合でも受診できることが挙げられる。デメリットとしては、画面を通じての診療であるため、対面診療に比べ病状の把握が難しいことや、慢性疾患を抱える方など患者が限定されることがある。また、導入費用や診察料の決済なども課題で

ある。なによりもインフラ整備が重要で、患者情報保護のセキュリティの徹底が求められる。

村の診療所としては患者輸送車の運行、往診による診察体制で、オンライン診療の導入を直ちに進める状況にはないと考える。

その他の質問
○コロナ禍における行政の対応について



11月1日からコンビニエンスストア等のキオスク端末から証明書が取得できます。利用するためにはマイナンバーカードが必要です。



佐々木 悦 男 議員



赤字になる心配があるのでは

村長 経営に最大限の努力をしたい

質問 秋田栗駒リゾート(株)

の株主総会資料によると、連続赤字から今年度も昨年同様黒字にする計画されている。本当に実現できるのか。ホテルプラン、温泉をフル営業できない状況ではまた大きな赤字になる心配があるが。

村長 第三セクターの3年連続赤字は大変心配をかけ申し訳ないと思っている。雇用の場、村民に施設を存分に活用していただきたいという趣旨の下運営し、黒字経営に向けて計画を立てている。社会情勢・環境変化もあるが、実績を残せないことは大変心苦しく、反省し、検討会等を開き、経営に最大限の努力をしていきたい。

質問 事業の縮小、逆に攻めの取り組みを考えているのか。何か対策を考えているのか。

村長 縮小については考えていない。常に攻めの気持ちを持ち続けている。遊休的な施設もあり、有効利用を今後検討し、第三セクターに効果ある計画をするよう努力したい。

質問 スキー場のリフト、レストラン営業は昨年同様か。ソーシャルディスタンスの関係から席数や乗車定員に影響は無いのか。

村長 今シーズンのリフト営業は第4リフトを除く3基体制の予定。ジュネスワンは換気対策により、席数は減少する。リフトについても東北索道協会、国交省からの指示もあり、乗車人数の減数等通知

されている。現場とよく協議を進めていきたい。

質問 温泉のフル営業、健康バスはいつから。

村長 サウナは経費の問題と密の状態で休止しており、入浴時間だけでなく、休憩室レストランまでとなれば、スタッフの問題もあり、一気に解決できない。会社、現場と相談しなければならぬ。

健康バスは村のマイクロバスの台数が減っており、余裕が無いことで今は見合わせている。

質問 村内クーポン券が発行されても、栗駒リゾートからの積極的な営業活動が無い。組織図を見ると営業は全員とあるが、責任感が無く、営業担当のしつかりとした人が責任を持って、各所への働きかけをするべきと思うが。

村長 プレミアム商品券、食事券等、営業担当が村内対策にしていくのか、外でPRするのか、現状の営業担当職員は営業部長以外具体的どこをどう回れば良いか悩めるようで、営業に対して徹底できないのが事実であり、こういった弱い点を強化していくことで努力していきたい。

その他の質問

○ 新型コロナウィルス・インフルエンザ予防接種について



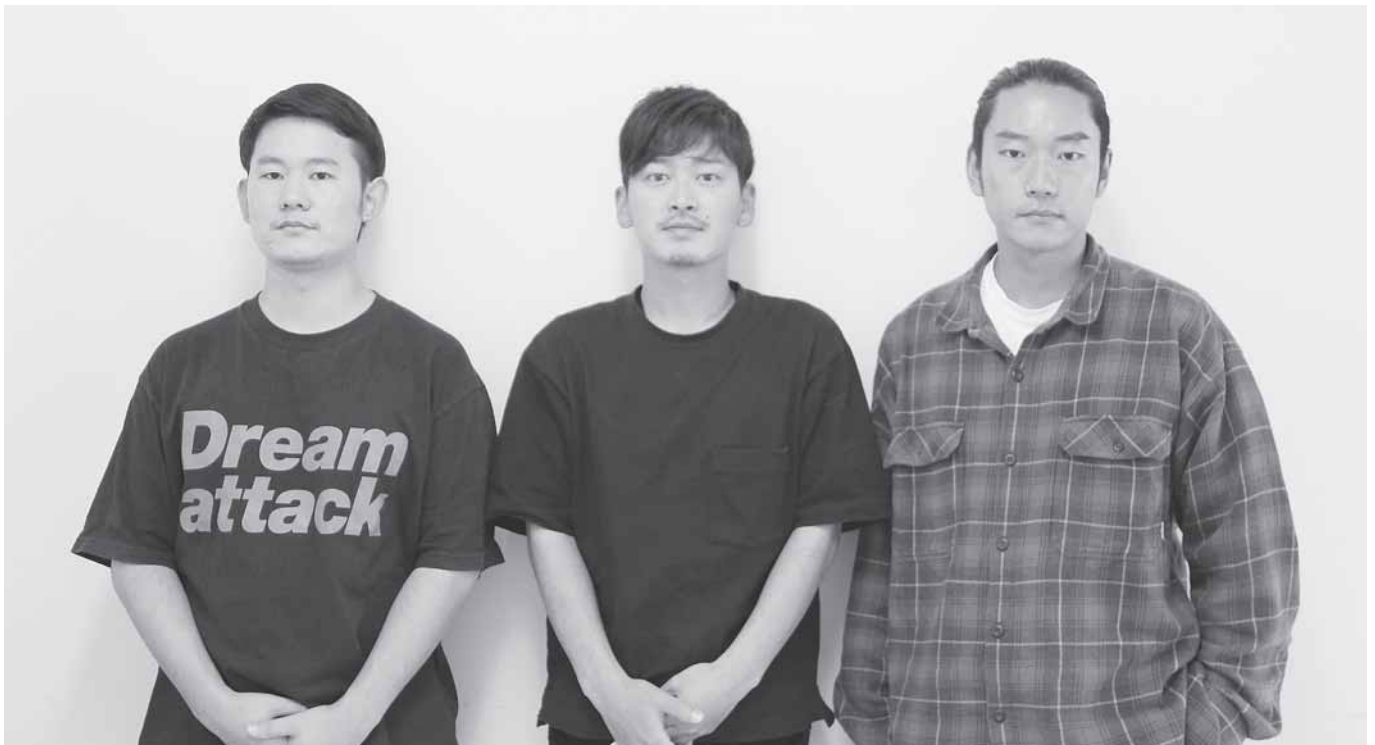
ジュネス栗駒スキー場

佐々木 正 利 議員



ユーチューブによる観光振興とは

村長 長い目で地域振興に寄与する



ユーチューバーの地域おこし協力隊員(左から) 倉持さん、内野さん、奈良さん

質問 今年度、4名の地域おこし協力隊を採用し、農林・物産振興に1名、ユーチューブによる情報発信で観光振興に3名が活動していただいている。村外から来た彼らから見た東成瀬村はどのように映るのか、大変興味深いし、村民が気づかない点を村おこしに期待したい。一挙に4名採用ということで村おこしに意気込みを感じるが、彼らに何を期待しているのか。ユーチューブによる情報発信で観光振興を図るとは具体的に何か。

村長 今回しっかりとした目的を持った募集をした。村の物産に関心を持って応募してきたということ、農林課に配属して農林業に頑張っている。ユーチューバーについては、3名のそれぞれ知り合い同士が協力し合ってチームを組んで応募してきた。

ユーチューブで広く村を発信して、今すべてに何かが起きるという意識でなくして、長い目で見るとういうことも、のが地域振興にも寄与していくものと思っている。

同時に環境整備すべきでは

質問 ユーチューブによる情報発信をすれば、多くの方に見ていただくことによって東成瀬村を訪れてみたいという方が増えてくると思う。村を訪れても泊まれる場所が少ないという状況にあるわけで、情報発信と同時に、宿泊を提供できる体制、環境整備をすべきと思うが。

村長 ユーチューバーについては、村の環境、観光面、物産面、人材を含めて理解度を深めてもらって、村に来ていただくことが大事な目的である。その点については順次これから浸透していこうと思う。ユーチューバーの業務とリンクするようなことも考えていくように努力したい。

その他の質問

○第三セクター関連について

村政を問う

佐々木 修 議員



ライフサイクルコストと財政は

村長 財政健全へ維持管理コスト検討行う

重要な理解して行かなければならない。

統合、複合型でコストの有効性を実現してきた。将来の公共施設はライフサイクルコストの考えが必要であり、その重要性を

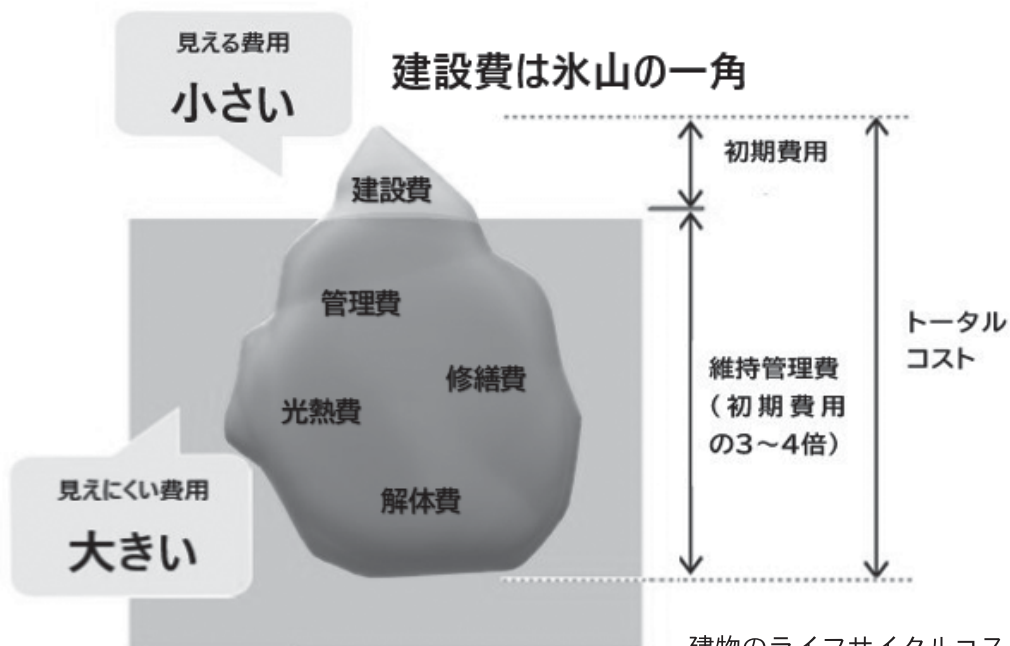
村長 村で保有している各公共施設等のライフサイクルコストの試算は「公共施設等総合管理計画」(内容は村ホームページで情報公開)の個別計画である程度行っている。今後の計画で新たな公共施設が必要な場合は、ライフサイクルコストの試算が当然必要になる。財政の健全化を目的に、既存施設の維持管理コストの検討を行う。これまでは、防災センターやゆるるん等、

【質問】 ライフサイクルコストとは建物を例にすると、建設費など初期費用に、その後の維持管理費全てを含めた生涯費用になる。策定期期の「東成瀬村総合計画」や、今後の財政にライフサイクルコストの考え導入を。また、現在の財政状況を踏まえ自治体経営には必要な事で、早急に取り組むべきでは。

【村長】 次期「東成瀬村総合計画」などの計画段階で、維持管理費を含むライフサイクルコストの考えを導入し、施設の更新計画、整備計画が可能であるかを検討する、これまでになかった手法で進める姿勢が求められると考える。

【質問】 「公共施設等総合管理計画」では、建設系とインフラ系の今後40年間の更新費用が370億円程度で、不足分が250億円程度と分析されている。これに維持管理費が別に発生する。ライフサイクルコストの考え導入で維持管理費を見直し、公共施設を維持、整備していく必要があるのではないか。

維持管理費は財政に大きな影響を与える



9月定例会議議決事項名

秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
教育委員会委員の選任について
個人番号カードの利用に関する条例の一部を改正する条例について
印鑑条例の一部を改正する条例について
村議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例について
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
介護保険条例の一部を改正する条例について
定住住宅条例について
令和2年度一般会計補正予算(第3号)
令和2年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
令和2年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)
令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
令和2年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)
令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
令和2年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
令和元年度一般会計歳入歳出決算認定について
令和元年度国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について
令和元年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算認定について
令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
令和元年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について
令和元年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について
令和元年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
令和元年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

請願・陳情

9月定例会議で1件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書の提出について
(陳情者) 秋田県町村議会議長会
会長 金子 芳継

令和2年度一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳入	
○村税	
個人住民税増	444万円
固定資産税増	970万円
○地方交付税	
普通交付税増	9,588万円
特別交付税増(特定地域づくり事業分)	332万円
○国庫支出金	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金増	1億6,345万円
特定地域づくり事業推進交付金	182万円
保育対策総合支援事業費補助金	100万円
公立学校情報機器整備費補助金(小・中学校)	419万円
学校保健特別対策事業費補助金	100万円
○県庫支出金	
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金	200万円
○繰入金	
介護保険特別会計繰入金増	137万円
○繰越金	
前年度繰越金増	3,595万円
○諸収入	
物産振興資金貸付金	82万円
奨学資金貸付金返還金増	115万円
○村債	
臨時財政対策債増	302万円
過疎対策事業債(ソフト)増	500万円
○法人事業税交付金	
法人事業税交付金(新設)	200万円
歳出	
○総務費	
令和2年7月豪雨災害義援金	30万円
特定地域づくり事業推進交付金及び負担金	663万円
旧電算システム移行業務委託料追加	332万円
新型コロナウイルス感染症対策費	1億2,217万円
○民生費	
広域入所委託料追加	200万円
児童館運営委託料(新型コロナ対策関係)追加	150万円
保育園運営補助金(新型コロナ対策関係)	200万円
○農林水産業費	
森林情報デジタル化推進事業負担金	400万円
○商工費	
ホテルブラン・栗駒山荘設備修繕等	1,150万円
○土木費	
修繕料追加	80万円
定住促進住宅整備費(滝ノ沢・田子内地区)追加	594万円
○教育費	
奨学金貸付金減	▲360万円
小学校費(学校ICT環境整備事業)	2,405万円
中学校費(学校ICT環境整備事業)	2,041万円
成人式開催費減	▲34万円
学校再開に伴う感染症対策事業等	200万円
○公債費	
長期債元金(繰上償還分)	1億2,486万円

常任委員会合同 村内視察

7月29日、総務教育民生常任委員会と産業建設常任委員会は合同で各地区から提出された新規要望事項について現地を視察し、各地区の代表から要望事項の内容や現状について説明を受けました。

調査には、副村長と担当課長も同行しており、調査終了後に講評を行いました。

平良地区
ごみステーションの更新



入道地区
横手東成瀬線路面補修



肴沢地区
排水路の改修



議会の動き

議会全員協議会

7月29日、議会全員協議会を開催し、秋田栗駒リゾート株式会社社の経営状況について報告を受けました。

議員からは、今期の組織体制についてや、村のクーポン券または県のプレミアム飲食券・宿泊券等の利用について、ホテルプランの営業についての質問がありました。



暫時 休憩

▼九月十六日、秋田県出身の營養偉氏が衆参両院本会議で第九代首相に選出された。本県出身者が首相に選出されるのは初めて、東北では五人目だそうです。

新型コロナウイルス対策が重要課題であり、健康には十分留意なされ頑張ってください。

▼新型コロナウイルスで行動範囲が狭まれている方も多いと思う。マスク着用・手指の洗い消毒・3密を避けることを徹底すれば、かなり感染防止ができると思っている。多人数での飲食はしないことにしている。

▼今年は、冬から雪が降らなかつたり、雨が降り出すと雨の日が多かつたり、雨が降らなくなると暑い日が九月上旬まで続くなど、天候が極端な年である。稲刈りシーズンとなった。刈り取りが終わるまで、できるだけ雨が降らないと願うのは農家共通の思いである。

(委員長・佐々木 正利)

しょうすにかけるかな?



第3弾

なるせ保育園ひまわり組のみなさんに**大好きなもの**の絵をかいてもらいました!



あべ
れいかちゃん

アナと雪の女王(エルサ)



ふじわら
そうたくん

いちご



たかや
ここはちゃん

エルサのケーキ

あの質問はその後どうなったの?

平成28年6月定例会議での佐々木 悦男 議員の一般質問

「雪冷熱利活用施設について」

追跡調査しました!



質問

育苗センターと岩井川に雪室施設を設置したが、計画と実際の効果はどのような状況か。また、実証の結果をどのように活用するのか伺う。

回答

村の農産物の保管・保存を行いながら、その保存期間での状態の調査をし、雪を活用したことによる付加価値としてのブランド化が大いに期待されると考える。まずは雪の量を調査した上で、次の展開の村の農産物を活用する方法を具体的に検討していきたい。



雪室施設の様子



桃太郎トマトのトマトケチャップなどの加工品を保管している

その後どうなったのか...

育苗センターの雪室については検証を終了した。岩井川の雪室については、現在年間を通じて農産物の一時保存や漬物等（加工品）の熟成などに活用されている。特に、村が誇る特産品である桃太郎トマトと平良カブについては、平成29年度の実績によると桃太郎トマト6,280kg、平良カブ737kgだったのに対し、令和元年度実績では桃太郎トマト9,482.5kg、平良カブ1,223.2kgとそれぞれ大幅に上昇しており、村農業の振興や発展に寄与していると考えられる。今後も様々な角度から検討・実績を重ね、より良い施設として活用していただきたい。